

授業科目 老年発達保健論

【担当教員名】 袖山 悦子		対象学年	1	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	◎	○	
【概要】 高齢社会は、先進国といわれる国々でみられ、WHO や国際連合が率先して高齢者の健康や人権擁護に関する声明を発表している。特に急速に高齢社会となったわが国は、成人期からの健康教育をはじめとして、社会で介護を支える介護保険の導入を行い対応してきた。本科目では、高齢化に伴う老年看護の課題を理解し、高齢者の QOL を支援する制度の成立背景と今後の展望について学ぶ。					
【学習目標】 1・わが国の人口の高齢化と課題について説明できる。 2・高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向を老年人口の増加と関連させ説明できる。 3・高齢者の QOL について高齢者の特徴をふまえて表現できる。 4・高齢者の人権と倫理問題について関心を持つ。 5・高齢者のソーシャルサポートシステムを知る。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	わが国の高齢社会の特徴			1	講義
2	老年期の理解			3	DVD、講義
3	老年期を生きる人々の特徴			3	講義
4	高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向			2	講義
5	高齢者を取り巻く保健医療福祉の動向			2	講義
6	高齢者の人権と倫理的課題			4	講義
7	高齢者のソーシャルサポートシステム			5	講義・演習
8	まとめ			1～5	講義 小テスト
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		老年看護 病態・疾患論	佐々木英忠、鳥羽研二、荒井啓行	医学書院	2012・2,200 円＋税
		老年看護学	北川公子、井出訓、植田恵	医学書院	2012・2,600 円＋税
参考書		老年看護学—概論と看護の実践—	奥野茂代・大西和子 編集	ヌーヴェルヒロカワ	2012・3,900 円
		高齢者の健康と障害	堀内ふき・諏訪さゆり編	ナーシング・グラフィカ	2012・3,400 円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席が受験資格を満たしていること 小テスト・レポート、定期試験			【履修上の留意点】 再試験は 1 回		